ICOM

操作設定ガイド

車載型デジタル簡易無線機

IC-D5005

本書は、IC-D5005の操作設定ガイドです。
本製品の基本的な操作やいろいろな呼び出しかたについて、説明しています。

簡単操作ガイド

❶ 電源を入れる

[電源]キーを長く押して、電源を入れます。

❷ 音量を調整する

受信音量が大きすぎたり、小さすぎたりしたときは、[＋]/[－]キーを押して聞きやすい音量に調整します。
※[＋]キーを押すと、音量が大きくなり、[－]キーを押すと音量が小さくなります。

個CH1
音量　20
音量調整中の表示

【モニター機能について】
受信音がない状態で音量を調整するときに便利な機能です。
モニター機能が有効になっているあいだ、「ザー」という音が聞こえます。その音を聞きながら音量を調整してください。
[モニター]キーを押すと、モニター機能が有効になります。
[モニター]キーをはなすと、モニター機能を解除します。
※設定により、動作が異なる場合があります。

❸ チャンネルを選択する

[▲]/[▼]キーを短く押すごとに、チャンネルがアップ/ダウンします。
※1～30チャンネルのあいだで選択できます。
※15チャンネル(CH15)は呼出用チャンネルとなっています。
呼出用チャンネルでは、個別呼び出し、ユーザーコード機能、秘話機能を設定した通話ができませんので、ご注意ください。

CH　01
チャンネル表示

❹ ユーザーコードを選択する

①[機能]キーを短く押すごとに、下図のように「通話チャンネル」表示と「ユーザーコードグループ」表示が切り替わります。

チャンネル表示　　ユーザーコードグループ表示

❹ ユーザーコードを選択する(つづき)

②[▲]/[▼]キーを押して、「ユーザーコードグループ番号」を選択します。
※グループOFF、1～511のあいだで設定できます。
③[機能]キーを押すと、ユーザーコードグループ番号を設定して、ユーザーコードグループ表示を解除します。
※すべての無線機のユーザーコードをOFF、または同じユーザーコードに設定します。
※ユーザーコードを「OFF」に設定すると、すべてのユーザーコードの通信を受信します。(ユーザーコードを「OFF」にした局の通信は、ユーザーコードを「OFF」以外に設定した局では受信しません)
※混信が発生する場合、すべての無線機のユーザーコードまたはチャンネルを別の設定に変更してください。

❺ 送話と受話

[PTT]スイッチを押すと、送話できます。はなすと受話状態に戻ります。
【[送受信]ランプの状態】
●消灯　　　:待ち受け時
●緑色に点灯 :信号受信時
●赤色に点灯 :送信時

【マイクロホンの使いかた】
●マイクロホンに向かって話すときは、マイクロホンと口元を約5cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。
マイクロホンを口元に近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、明りょう度が悪くなることがありますのでご注意ください。
●[PTT]スイッチを押すと、ビープ音が「ピッ」と鳴ります。
そのあとマイクロホンに向かって話してください。

[送受信]ランプが緑色に点灯中は、キャリアセンス機能によって送信できない場合があります。

【送信時間制限装置】
1回の送信で連続して送信できる時間は、「5分以内」と電波法で定められています。
送信時間制限10秒前になると、ビープ音が「ピッ」と鳴ります。
1回の送信時間が5分になると、警告音が「ブッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。
※このあと1分間送信できなくなります。
※1分後に[PTT]スイッチを押すと、再度呼び出しできます。

❻ 電源を切る

使い終わったあとは、[電源]キーを長く押して電源を切ってください。

■ ロック機能

不用意に[＋]/[－]/[機能]/[全/基]/[▲]/[▼]/[セット]キーにふれても、表示や音量が変わらないようにする機能です。
[O⊸]キーを長く押すと、ビープ音が「ピピッ」と鳴って、表示部に「⊶」が点灯します。
ロック機能動作中に、[＋]/[－]/[機能]/[全/基]/[▲]/[▼]/[セット]キーを押すと、表示部に「キーロック」を表示します。
同じ操作をすると、ロック機能を解除します。

いろいろな呼び出しかたについて

1 秘話機能を使用する

本製品は、32767とおりの秘話を使用できます。
秘話キーは、あらかじめ設定しておいた最大16種類の秘話キーから、どれか1つを選択して使用できます。
秘話を使用するときは、セットモードから秘話キーIDを選択してください。
また、セットモードで秘話キーIDを変更できます。
※秘話機能(秘話キーID、秘話キー)の設定のしかたは、IC-D5005取扱説明書の「4 セットモード」の「秘話機能の設定」を参照してください。
※秘話キーは、工場出荷時の値から変更して使用することをおすすめします。
秘話キーの一括設定をする場合は、販売店にご依頼ください。

秘話OFF時の表示　　秘話設定時の表示

秘話機能をONにして送信した場合、秘話機能をOFFにした無線機、または秘話キーIDの異なる無線機で受信すると、音声が出ない、または音声にならない音が出ます。
※通常は、秘話機能のON/OFFおよび秘話キーは、すべての無線機で同じ設定にしてください。
※呼出用チャンネル(チャンネル15)では、秘話機能を使用できません。
※ユーザーコードや個別番号が一致していても、秘話キーの設定が異なると、受信側の無線機の動作が異なります(下表参照)。

【秘話設定と受信側音声出力の関係】

受信側 / 送信側	秘話OFF	秘話ON
秘話OFF	○ (送信側の音声)	○ (送信側の音声)
秘話ON	× (スピーカーから何も聞こえない)	○ 【秘話キーが一致】(送信側の音声)
		× 【秘話キーが不一致】(音声にならないため聞きとれません)

2 個別呼び出し機能を使用する

個別呼び出し機能を使用すると、高度なグループ分けができたり、無線機を個別に呼び出したりできます。
個別呼び出し機能は、ゴルフ場、イベント会場、工事現場のような中規模、大規模システムに適しています。
※個別呼び出し機能を使用する場合は、「個別呼び出し設定」を「ON」にしてください。個別呼び出し機能の設定のしかたは、IC-D5005取扱説明書の「4 セットモード」の「個別呼び出し設定」を参照してください。
※個別呼び出し機能のON/OFF設定は、お使いになるすべての無線機を同じ設定にしてください。

ここでは、個別呼び出し機能の使用例を解説します。
個別呼び出し機能を使用される場合のご参考にしてください。

■ 無線機の設定

チャンネル、および秘話キーは、送信側と受信側で同じ値に設定します。
また、ユーザーコードは、すべての無線機で同じ設定(OFFを含む)にしてください。
※ユーザーコードが「OFF」の局は、ほかの局からの音声が聞こえます。(ユーザーコードが「OFF」の局からの音声は、「OFF」以外に設定した局には聞こえません)
本製品は、個別番号やグループ番号に全角4文字まで(半角8文字まで)の名称が設定できます。
※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

(設定例1:ゴルフ場で使用する場合)
クラブハウス(イベント本部)と、ゴルフカートに設置した無線機を使ってゴルフをされるお客様が連絡を取り合う場合の設定です。
ゴルフをされるお客様が、直接カートを運転してコースをまわる場合に、クラブハウスから各カートに個別に案内をしたり、各カートからクラブハウスに連絡したりできます。

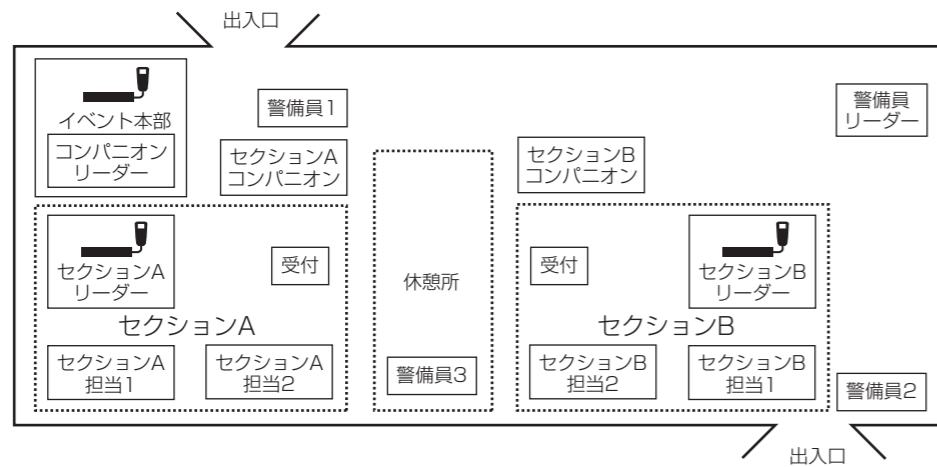
※グループ分けするときの設定例は、裏面(設定例2:イベント会場)をご覧ください。
※呼出用チャンネル(チャンネル15)では、個別呼び出し機能を使用できません。
※混信が発生する場合、すべての無線機のユーザーコードまたはチャンネルを別の設定に変更してください。

【共通設定】
CH:01、ユーザーコード:001、秘話OFF

設定 / 無線機	自局番号	基地局番号	終話後表示
イベント本部	自局0001	基地0001	全体
ゴルフカート1	自局0010	基地0001	基地
ゴルフカート2	自局0011	基地0001	基地
ゴルフカート3	自局0012	基地0001	基地
ゴルフカート4	自局0013	基地0001	基地
ゴルフカート5	自局0014	基地0001	基地
ゴルフカート6	自局0015	基地0001	基地

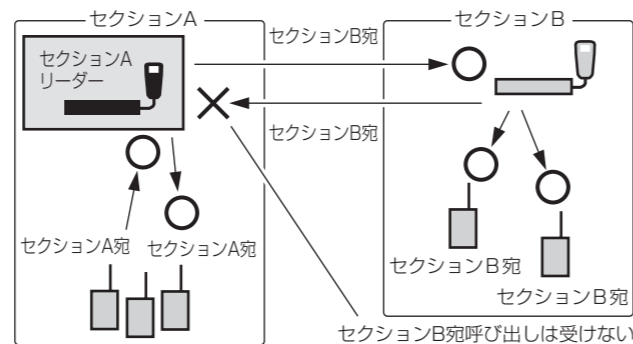
2 個別呼び出し機能を使用する(つづき)

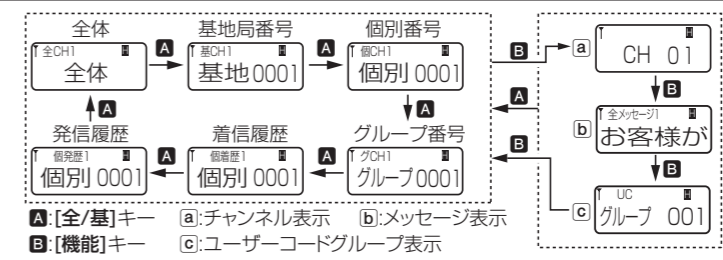
■ 無線機の設定(つづき)

(設定例2:イベント会場で使用する場合)
イベント会場では、1つの会場内にさまざま役割のスタッフが混在します。
マルチグループ(複数のグループを構築)にすることで、効率よく指示できます。また、設定により複数のグループに同時に指示できます。

【共通設定】
CH:01、ユーザーコード:001、秘話OFF、終話後表示:優先個別番号

設定 / 無線機	自局番号	基地局番号	グループ0001 (リーダー)	グループ0002 (セクションA)	グループ0003 (セクションB)	グループ0004 (コンパニオン)	グループ0005 (警備員)	優先個別番号
イベント本部	自局0001	基地0001	メンバー	グループ	グループ	グループ	グループ	グループ0001
コンパニオン リーダー	自局0050	基地0001	メンバー	グループ	グループ	メンバー	グループ	グループ0001
セクションA リーダー	自局0010	基地0001	メンバー	メンバー	グループ	グループ	グループ	グループ0002
セクションA 担当1	自局0011	基地0010	グループ	メンバー	グループ	グループ	グループ	グループ0002
セクションA 担当2	自局0012	基地0010	グループ	メンバー	グループ	グループ	グループ	グループ0002
セクションA コンパニオン	自局0051	基地0050	グループ	メンバー	グループ	メンバー	グループ	グループ0002
セクションB リーダー	自局0020	基地0001	メンバー	グループ	メンバー	グループ	グループ	グループ0003
セクションB 担当1	自局0021	基地0020	グループ	グループ	メンバー	グループ	グループ	グループ0003
セクションB 担当2	自局0022	基地0020	グループ	グループ	メンバー	グループ	グループ	グループ0003
セクションB コンパニオン	自局0052	基地0050	グループ	グループ	メンバー	メンバー	グループ	グループ0003
警備員リーダー	自局0040	基地0001	メンバー	グループ	グループ	グループ	メンバー	グループ0005
警備員1	自局0041	基地0040	グループ	グループ	グループ	グループ	メンバー	グループ0005
警備員2	自局0042	基地0040	グループ	グループ	グループ	グループ	メンバー	グループ0005
警備員3	自局0043	基地0040	グループ	グループ	グループ	グループ	メンバー	グループ0005

【メンバー設定について】
参加するグループの「グループ設定」を「メンバーとなるグループID」に設定することにより、複数のグループに参加できます。(呼び出しを受ける)
※メンバーになっていないグループでも、そのグループを選択して呼び出せます。
IC-D5005取扱説明書の「4 セットモード」の「グループ設定」を参照してください。

(使用例:右図参照)
セクションAのリーダーは、セクションAのメンバーになっているので、セクションA宛の呼び出しを受けることができます。
セクションBのメンバーにはなっていないので、セクションB宛の呼び出しは受けませんが、必要に応じてセクションBを選択して呼び出せます。

■ 表示の流れ

※[全/基]、[機能]キーを押すごとに、右図のように表示が切り替わります。
※「着信履歴」、「発信履歴」、「ショートメッセージ」を表示させる場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 呼び出しかた(例)

【全体呼び出し(すべての無線機を呼び出す)の場合】

(例)「(設定例2:イベント会場で使用する場合)」のすべての無線機を呼び出す場合

① [機能]キーを短く押して、「通話チャンネル」表示にします。
② [▲]/[▼]キーを押して、「通話チャンネル番号」を「CH01」に設定します。

チャンネル表示

③ [全/基]キーを短く押して、「全体」(全体呼び出し)を選択します。

全体表示

④ [PTT]スイッチを押すと、[送受信]ランプが赤色に点灯します*[1]。
[PTT]スイッチ押しながらマイクロホン部に向かって呼びかけると、すべての局と通信できます。

【基地局呼び出しの場合】

(例)「(設定例2:イベント会場で使用する場合)」の「セクションAリーダー」が「イベント本部」を呼び出す場合

① [機能]キーを短く押して、「通話チャンネル」表示にします。
② [▲]/[▼]キーを押して、「通話チャンネル番号」を「CH01」に設定します。

チャンネル表示

③ [全/基]キーを短く押して、「基地0001」(基地局呼び出し)を選択します。

基地局番号表示

④ [PTT]スイッチを押すと、[送受信]ランプが赤色に点灯します*[1]。
[PTT]スイッチ押しながらマイクロホン部に向かって呼びかけると、基地局設定されている「イベント本部」と通信できます。

*[1] [送受信]ランプが緑色に点灯中は、キャリアセンス機能によって送信できない場合があります。
その場合は[送受信]ランプの緑色が消灯したあとで、再度[PTT]スイッチを押してください。

【グループ呼び出し(特定のグループだけを呼び出す)の場合】

(例)「(設定例2:イベント会場で使用する場合)」の「セクションAグループ」を呼び出す場合

① [機能]キーを短く押して、「通話チャンネル」表示にします。
② [▲]/[▼]キーを押して、「通話チャンネル番号」を「CH01」に設定します。

チャンネル表示

③ [全/基]キーを短く押して、「グループ××××」(グループ呼び出し)を選択します。
※××××は表示されたグループ番号です。
④ [▲]/[▼]キーを押して、「グループ番号」を「グループ0002」に設定します。

グループ番号表示

⑤ [PTT]スイッチを押すと、[送受信]ランプが赤色に点灯します*[1]。
[PTT]スイッチ押しながらマイクロホン部に向かって呼びかけると、「セクションAグループ」のメンバーに設定されている局と通信ができます。

【個別呼び出し(特定の無線機だけを呼び出す)の場合】

(例)「(設定例2:イベント会場で使用する場合)」の「セクションBリーダー」を呼び出す場合

① [機能]キーを短く押して、「通話チャンネル」表示にします。
② [▲]/[▼]キーを押して、「通話チャンネル番号」を「CH01」に設定します。

チャンネル表示

③ [全/基]キーを短く押して、「個別××××」(個別呼び出し機能)を選択します。
※××××は表示された個別番号です。
④ [▲]/[▼]キーを押して、「個別番号」を「個別0020」に設定します。

個別番号表示

⑤ [PTT]スイッチを押すと、[送受信]ランプが赤色に点灯します*[1]。
[PTT]スイッチ押しながらマイクロホン部に向かって呼びかけると、「個別0020」に設定されている「セクションBリーダー」と通信できます。

登録商標について

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。

A-6742H-2J Printed in Japan